平成 28 年度　ＦＤ活動報告

地域保健学域 看護学類/
看護学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

看護学類 FD 委員会が主催し研究・教育活動に関する年 2 回の学類 FD を実施し、1 回分は他の教育機関の看護教員、医療施設の看護職者等も参加できるよう広報活動を行い、公開性とした。また、昨年から実施している若手教員のための地域保健学域 FD カフェを学類 FD 委員会が協働して企画、運営した。その他、ピア授業参観の促進も行った。

２　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	6	7	年 3 回のアナウンスにより、公開授業提供数は年間 88 科目と増加し、ピア授業参観も定着してきている。課題であった大学院の授業提供や参観についても少しずつ行われるようになり、例年、実習のために参観が少なくなる後期も前期と同様の参観があった。
後期	6	7	
年度合計	12	14	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
9 月 21 日	第 1 回看護学類 FD セミナー 「海外地域ケア研修報告」 報告者：看護学類　志田京子教授、香川由美子准教授、江口恭子講師	報告会	34 名
3 月 13 日	第 2 回看護学類 FD セミナー 「看護倫理教育の視点と展望」 講師：元聖隷浜松病院副院長・総看護部長 勝原裕美子先生	セミナー	117 名
8 月 29 日	第 1 回地域保健学域 FD カフェ 「フリートーク：研究領域および今後の研究のコラボレーションについて」	フリーディスカッション	18 名（看護学類 7、総リハ学類 11 名）
3 月 22 日	第 2 回地域保健学域 FD カフェ 第 1 部　話題提供「大阪における子供の貧困－実態調査から」報告者：教育福祉学類　嵯峨嘉子准教授 第 2 部　ディスカッション	セミナー	26 名（看護学類 16、総リハ学類 9、教育福祉

			学類１名

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
看護学類 FD 委員会	看護学類の FD 活動の企画、運営、評価	6 回	5 名
地域保健学域 FD カフェ担当者合同委員会	FD カフェの企画、運営について	4 回	4 名

５　その他取り組みの具体的実施状況

看護学教育の質の改善についての千葉大学大学院看護学研究科主催､看護学教育ワークショップ　「卒業到達目標の評価をどう行い、どう生かすか～大学改革時代における看護学教育の継続的質改善への挑戦～」への看護学類教員参加のための調整など、学内外の FD セミナーへの教員参加の促進、調整を行った。

授業評価アンケートの入力促進については QR コードを使用した入力協力について科目担当教員に働きかけ、授業時のアナウンス、QR コードの配布や教室への掲示などを行った。

平成 29 年度　看護学類・看護学研究科 FD 活動計画

1. ピア授業参観促進：

今後も同様にピア授業参観の取り組みを継続する。
年 3 回のピア授業参観科目のメールによる呼びかけを継続する。様々な教員が参加できるよう、参加促進方法を検討していく。

2. FD セミナー開催：

教育、研究に関する FD セミナーを年 2 回程度実施する。様々な部局で FD を実施しているため、他部署との共催の FD セミナー実施も検討する。

また個別にセミナーなどに参加した場合は、教員全体で共有できる機会を設定することも検討する。

3. FD カフェ開催：

FD カフェは教員が参加しやすい日時を選択し、気軽に参加できる内容を企画する。若手に限らず、参加できることも周知して、分野を学類を越えて交流する機会とする。今後も年複数回実施する。

４．授業アンケート（ポートフォリオ）活用についての取り組み：

アクセスしやすい環境をつくること、学生が入力することでのメリットを感じられるような仕組みを検討し、実施する。

5. 各種セミナーへの参加促進

高等教育開発支援センター等のアナウンスのあったセミナーやその他学外でのセミナー等に関しては参加教員を募り、FD 活動への参加促進を行う。